



班員 成合侑生 矢野楓 栗間康介
前原胡実 福永優音 酒井芯

指導 五反田聡先生

研究動機と目的

将来の夢でもある教育関係の社会問題になっていることを調べたいと思ったから。また、子育てをする環境が十分に備わっているのか知りたいと思ったから。

研究方法

延岡高校の2年生に地元に対するアンケートを実施する。延岡高校の2年生の保護者に子育て環境や子育て支援についてアンケートを実施する

必要な道具

・パソコン ・新聞 ・タブレット

参考文献

[宮崎日日新聞MIYANICHI © PRESS](#)

先行研究

2022年度人文社会131班『地域と子ども食堂』
初回産科受診料助成
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
子ども家庭サポートセンター
子ども医療費助成制度

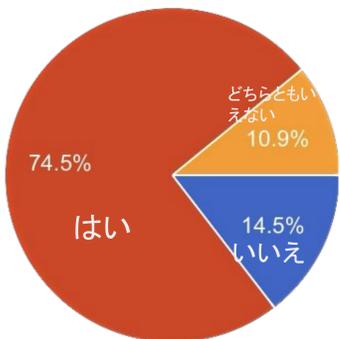
仮説

延岡市は他県他市に比べて、交通の便が悪い上に、市民のニーズに応えられるような商業施設や医療施設、政策などが整っていないのではないかと。また就職先が少なく、就職先が多い町に移住してしまうのではないかと。

結果

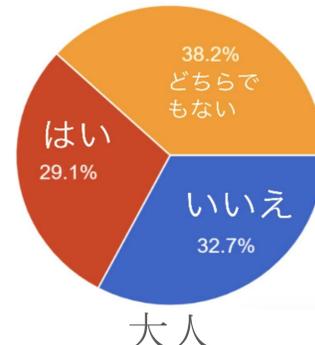
将来、今住んでいる地域に住みたいですか。

生徒



住んでる地域を移住したい理由
・都会は交通の便が良いから
・都会に憧れているから
・都会は店が多いなど利便性が高いから
・都会は就職先が多いからなど…

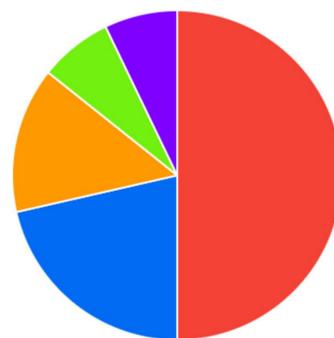
住んでいる地域に対して子育て環境に不満を持ったことはあるか。



- ・学習、スポーツ環境が整っていない
- ・保育園不足（預けにくい）
- ・支援策が不公平
- ・医療費補助対象の年齢が低い
- ・塾が少ない
- ・街灯が少ない

大人

地元を求める環境整備は何か。



- 施設整備: 7 (50%)
- 相談経済支援: 3 (21.42%)
- 相談センターの設置: 2 (14.28%)
- 教育支援: 1 (7.14%)
- 高校生までの医療費助成制度: 1 (7.14%)

地元に必要な就職先があると思いますか？



宮崎日日新聞の記事より
・宮崎県内にはIT関連の仕事があまりない
・他県他市には起業をサポートする政策や条例がある
・能力があっても年功序列制で能力が正當に評価されない

考察

アンケートの結果から、延岡市は子育て世代の要望に答えきれていない。また、高校生が求める環境が整っていないため、都会に移住していく。そのため、若い世代のニーズに応えることで、移住数は自ずと減少するのではないかと。

結論

アンケート調査の結果、私たちが住んでいる延岡市の環境に対して満足している人や、将来今住んでいる地域に住み続けたいと思っている人は少ないということが分かり、延岡市は新たな政策を検討するか、行っている政策を知ってもらう必要があると考えられる。

謝辞

担当の五反田聡先生、アドバイザーの水永様、アンケートに協力してくださった延岡高校2年生、その保護者様に感謝申し上げます。

今後の展望

アンケートの結果を踏まえて、具体的な地元の子育て・環境対策を考え、市役所に提出する文書を作る。